

特色選抜 [入学者選抜における求める生徒像・選抜方法] (案)

学校番号	学校名	課程	学科・コース	募集定員 (特色＋一般)
56	南部商業	全日	全学科	160名
求める生徒像・選抜において重視する観点	【求める生徒像(アドミッションポリシー)】 ○基本的な生活習慣が身に付いて、けじめのある学校生活を送ることができる生徒。 ○商業に関して興味・関心があり、各種資格・検定の取得や商業高校で学ぶ強い意欲を持った生徒。 ○自他を大切に思う気持ちを持って、主体的・協働的に学校行事や各種活動に取り組める生徒。 ○将来の目標を持ち、その実現のために諦めずに努力することのできる生徒。 【流通クリエイト科】 ○地域の企業と連携した体験的学習に興味・関心があり、自主性やコミュニケーション能力を身に付けたい生徒。 【オフィスクリエイト科】 ○商業に関する資格取得を活用して、商業系大学への進学を目指し、地域経済の発展に貢献したいという意思のある生徒。 【デジタルクリエイト科】 ○パソコン・タブレット等に興味・関心があり、常に新しいものにチャレンジし、学び続けることができる生徒。 【観光クリエイト科】 ○沖縄・日本、そして世界の動向に興味・関心を持ち、外国語習得をはじめ、観光産業について他者と協働して学ぶことのできる生徒。 【選抜において重視する観点】 ○基礎学力があり、基本的な生活習慣が身についている。 ○各種資格検定取得や商業高校で学ぶ意欲がある。 ○主体的・協働的に学校行事や各種活動に取り組むことができる。 ○将来の目標を持ち、その実現に向かい諦めず努力することができる。 【流通クリエイト】 ○体験的学習に興味関心があり、自主性やコミュニケーション能力を身につけるために意欲的に取り組める。 【オフィスクリエイト】 ○商業に関する資格取得を活用し商業系大学への進学を目指し、地域社会に貢献したいと主体的に進路を考えることができる。 【デジタルクリエイト】 ○パソコンやタブレット等に興味関心があり、新しいものに常にチャレンジでき学び続けることができる。 【観光クリエイト】 ○沖縄、日本、世界の動向に興味関心を持ち、外国語習得をはじめ観光産業について他者と協働して学ぶことができる。			
募集定員 (特色選抜)	72名(各学科18名)			
選抜項目・検査方法・配点	【各選抜項目における配点】 計 1000 点 1. 学力検査 500 点 各教科50点満点×2倍＝100点満点に換算×5(教科)＝500点(500点満点に換算) 2. 調査書 300 点 ア. 教科の評定180点 国・数・英2倍傾斜配点 1科目:3カ年評定 最高15点×3科目＝45点×2＝90点満点 その他の6科目 1科目:3カ年評定 最高15点×6科目＝90点満点 イ. 特別活動 30点(30点×1項目) 生徒会活動、学級活動、学校行事、リーダー的活動(各種役員等)、地域での活動等を30点満点で加点する。 ※校外での活動を問わず1項目を加点対象とする。(調査書の記載から判断する) ウ. 体育活動/文化活動/資格取得等 90点(30点×3分野) 県大会出場、九州(全国)大会出場、その他顕著な活動を30点で加点する。 ※最大3項目を加点対象とする。(資格取得については合格証書等の写し、大会等の結果については、賞状など証明するものが必要となる。 ただし、団体競技等に出場したものは、追加資料としてメンバー表を別紙で添付すること。) 3. プレゼンテーション・面接 200 点 [プレゼンテーション150点] ア. 実施内容 プレゼンテーション(当日は紙媒体を活用してください) イ. テーマ:「希望する学科のアドミッションポリシーを踏まえて、本校入学後に取り組みたいこと」について ウ. 時 間 5分程度 エ. 質疑応答 5分程度 ※事前提出書類(600文字程度、様式は別に定める)あり。評価に含める。 [面接50点] ア. 面接方法 個人面接(プレゼンテーション後、そのまま面接を実施する) イ. 面接委員の構成 1組3名 ウ. 所要時間 1人10分程度 エ. 面接内容 志望理由/将来の進路希望/高校生活の抱負/中学校での活動状況/長所・短所等 オ. 評価の観点 応答内容/態度・言葉遣い/服装・容姿 等 上記1から3を基に、調査書の記載内容と面接を考慮しながら、求める生徒像に照らして総合的に判断し、選抜する。			
備考等	【選抜項目・検査方法・配点】「2. 調査書」における「イ. 特別活動」「ウ. 体育活動/文化活動/資格取得等」の配点は別紙で定める。 ※1年から3年までの5教科(国語・社会・数学・理科・英語)の評定平均が3.0以上の者を受検対象とする。 〈算出方法〉評定平均＝(1年～3年までの5教科の評定の合計)÷15 (小数第2位を四捨五入)			